



# マパールグループ

機械加工における技術パートナー





» パートナーシップの根底となるのは対話です。  
なぜなら開かれた対話からのみ理解が生まれるから  
です。だからこそ私たちはお客様、弊社スタッフ、  
そして技術と対話を続けるのです。«

*Jochen Kress*博士、マパールグループ社長



# 対話からパートナーシップへ

## 読者の皆様、

マパールグループは、世界中で革新的で信頼できる技術パートナーとなることを目標に、近年一貫して発展してきました。このために必要であった変化と調整は今後もずっと付随し、必要不可欠の礎はそのまま我々の活動の中心にあります。対話とその結果としてのパートナーシップが生まれます。

私たちは日々常にあらゆるレベルにおいて技術と対話しています。そして機械加工分野での機会を探り、イノベーションのための可能性を創出します。そうして新しいツールコンセプトが作られ、新しい製造プロセスが推進されます。

どんなご相談でもお客様と対話をし、それを超えていきます。対話により弊社は各業界の挑戦を認識し、長年の経験から特別な要求を具体的で有益なソリューションに置きかえます。

もちろん弊社スタッフ、ビジネスパートナー、そして地元や世界中の協力会社とも対話を継続します。

なぜなら対話はより多くのことを生み出すからです。より多くの信頼、より多くの成功が生まれます。これは私たちにとってのパートナーシップを意味します。

  
Jochen Kress博士

# 一緒に

先を見据えるテクノロジーの  
エキスパートをお探しですか？

## マパールは、

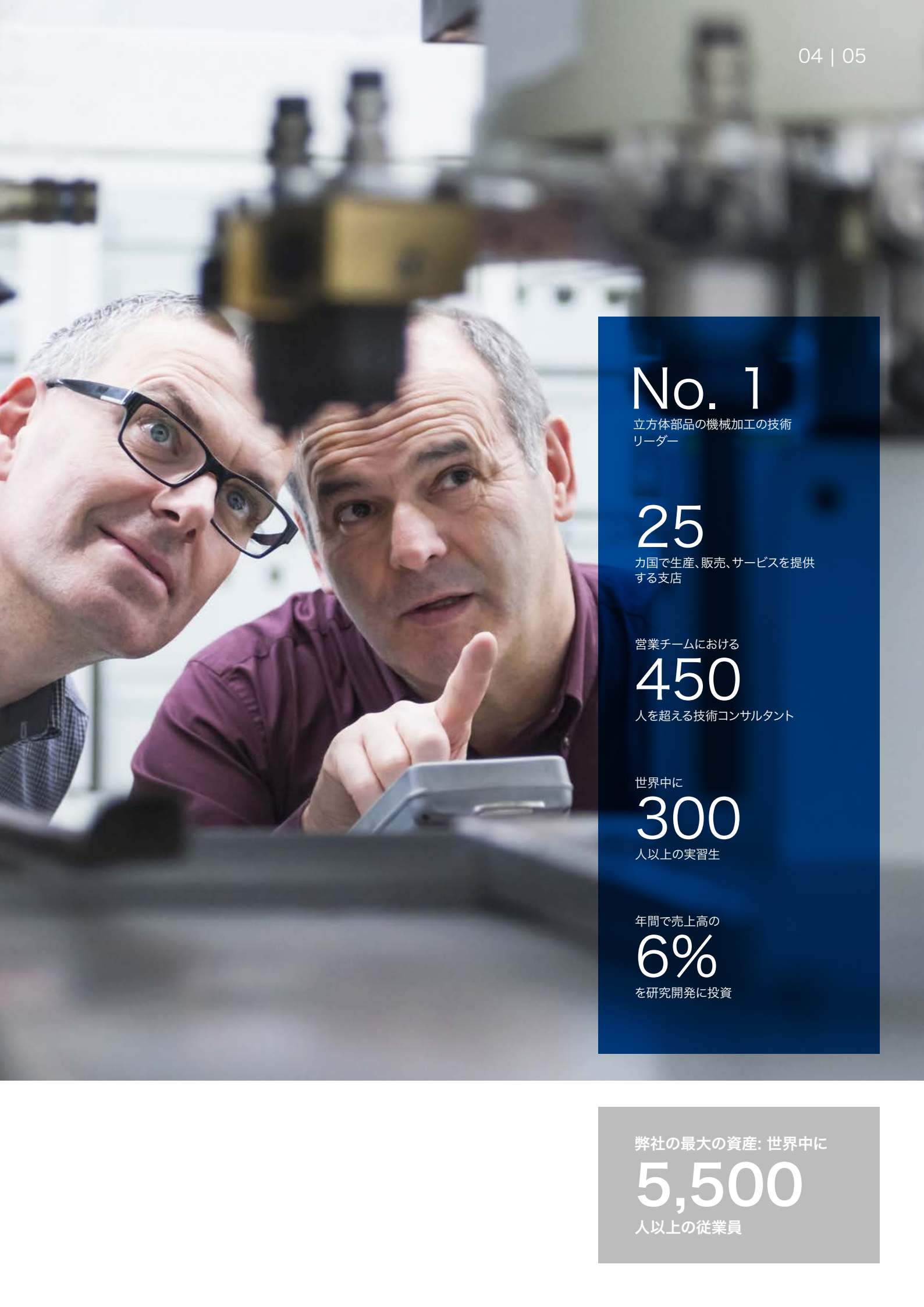
お客様の課題を解決  
するために全力  
を尽くします

パートナー  
シップ

## 包括的なサービスと組み合わせた ツールおよびプロセスソリューション

私たちは標準ツール、個々のツールコンセプト、ツール細部の最適化により効率的で省資源的な製造プロセスを開発する際に、お客様をサポートする技術パートナーと考えています。マパールのツールは、工程の信頼性、精度、簡単な取扱いの要求を満たします。どのようにして？高度な開発と工法ならびに最先端の生産設備による生産によって要求に応えます。

課題に最適なツールを必要とするだけでなく、プロジェクト全体とプロセスをサポートするパートナーを探しているお客様が多いです。この場合もマパールはお客様をサポートします。マパールはあらゆる生産段階でお客様をサポートし、トップレベルの生産を維持します。高い生産性、経済性、工程の信頼性を約束します。さらに実際の加工プロセスに関してあらゆる周辺タスク用にネットワーク化された完全なソリューションを提供します。



# No. 1

立方体部品の機械加工の技術  
リーダー

# 25

カ国で生産、販売、サービスを提供  
する支店

営業チームにおける

# 450

人を超える技術コンサルタント

世界中に

# 300

人以上の実習生

年間で売上高の

# 6%

を研究開発に投資

弊社の最大の資産: 世界中に

# 5,500

人以上の従業員

## 継続性と革新性 — 開始から



1950年: ゲオルク・クレス博士による設立

1950年

1951年 1952年

精密ツールや先駆的な加工ソリューションの世界的大手サプライヤーとして、マパールはその成功の歴史を振り返ります。

会社の歴史は当初から、オーナーであるクレス家の企業家精神、シュヴァーベンの発明家から出る一貫性と革新的な精神によって特徴付けられていました。



**1954年:** 初代リーマ - 今日の製品のルーツ



**1969年:** ディーター・クレス博士の入社

1953年 1954年 **1955年** 1956年 1957年 1958年 1959年 **1960年** 1961年 1962年 1963年 1964年 **1965年** 1966年 1967年 1968年 1969年

## 1950年

### 設立 - 思い切ったスタート

50歳近くでゲオルク・クレス博士は、意を決してアーレンにMAPAL Dr. Kress KG社を設立しました。当時の製品範囲に含まれたのは、タップや木工機械です。MAPALとは、Maschinen- und Präzisionswerkzeugfabrik Aalen (アーレンの機械および精密ツール工場)の略です。

## 1954年

### 初代リーマ - 最初のマパールのイノベーション

ゲオルク・クレス博士は、イタリア人発明家の1枚刃リーマの特許を取得します。スロットに固定され、調節可能な刃を備えたこのリーマの原理は、すぐには機能しませんでした。マパールのエンジニアが開発をし完成させることができました。これが穴あけ加工の分野における一連の画期的な開発の始まりです。



## 1969年

### 2代目の成功

創業者の息子であるディーター・クレス博士が入社しました。



## 1960年から1969年

### 強固な基盤での成長

その革新的な強み、起業家精神と健全な経営のおかげで、同社は従業員130人規模に成長しました。さらなる発展の基盤のために、ゲオルク・クレス博士は、施設周辺に追加の土地を手に入れ、新しい建物とともに、同時に将来のための一般的な開発計画が作られました。

## 革新的な強みと拡大



1977: 北アメリカに最初の子会社



1984年: 生産プログラムの大幅な拡大

1970年

1971年

1972年

1973年

1974年

1975年

1976年

1977年

1978年

1979年

1980年

1981年

1982年

1983年

1984年

1985年

1986年

### 1970年から1979年

#### さらなるイノベーションのための専門化

1970年代にマパールは、精密穴加工のためのインサート付きツールの製造を専門としていました。タップやダイス、後に転造ダイスの製造は中止され、代わりに研究開発が最適に構造化され、徹底的に推進されます。それ以来、着実かつ迅速なイノベーションがマパールを特徴付けています。

### 1977年

#### 新しい地域 - 最初の子会社

西側への展望: 1977年にマパールはアメリカ合衆国に最初の子会社を設立しました。

### 1980年から1989年

#### 新分野の技術リーダー

1980年代にマパールは従業員を180人から480人に増員し、製造プログラムの大幅な拡大によって技術リーダーの地位を引き継ぎました。「お客様がいるところにマパールもいる」というモットーに従い、より広い分野で、自動車産業の分野も開拓し、販売部を再編しました。マパールはとりわけ財政上において強さを増しました。





1997年: 南アメリカ(ブラジル)  
に最初の子会社



1999年: アジア市場(インド)  
で最初の子会社

1987年 1988年 1989年 1990年 1991年 1992年 1993年 1994年 1995年 1996年 1997年 1998年 1999年 2000年 2001年 2002年 2003年 2004年



### 1990年から1999年

#### 新技術による競争力

プフォルツハイムにあるコンペテンスセンターの吸収により、マパールはアルミニウム部品の大量生産を含むPCDツールに関するポートフォリオを拡大しました。明確な専門性を備えた他のコンペテンスセンターでは、アクチュエーティングツール、ISOツール、クランピングツールやマルチブレードリーマで製品範囲を拡充しました。

サービス部門および製造プログラムが大幅に拡大され、子会社がドイツ国内外に設立されました。1999年には1,700人の従業員を擁し、マパールグループは有力な技術パートナーとなり、特殊ツールを提供する大手企業の一社になりました。

# 世界をリードする技術パートナー



2008年: ヨハン・クレス博士の経営陣への就任



2012年: 独自のCVDコーティングシステム



2017年: c-Com GmbHの設立

2005年

2006年 2007年 2008年 2009年

2010年

2011年 2012年 2013年 2014年

2015年

2016年 2017年 2018年

## 2000年から2009年

### ドイツでの強い基盤により、世界中で品質の確保

2000年代には製品範囲が一貫して完成し、世界中により多くの拠点が作られました。経済的で信頼性が高く、カスタマイズされたツールソリューションで、マパールは新しい市場を開拓し、航空産業等の要求の高い分野でも成長しています。マパールは依然として、ドイツにおける強力な基盤に信頼を置いています。コンペテンスセンターの生産拠点は劇的に拡大し、技術的なリードで世界的に統一されたサービス全般のための生産基準を設定します。



## 2008年

2008年にはヨハン・クレス博士が三代目でマパールグループの経営陣に加わりました。

## 今日

### 2010年から今日まで

#### マパール - 世界をリードする技術パートナー

継続的な技術革新と国際的な成長を通じて、マパールは立方体部品加工のスペシャリストとしての地位を確立しました。高いレベルの専門知識、豊富な経験、幅広い製品とサービスにより、マパールは今日では世界をリードする技術パートナーです。

その優れた革新的な強さと一貫した投資のおかげで、マパールは将来的なテーマに迅速かつ機敏に取り組めます。例えばマパールは最初の精密ツールメーカーとして、3Dプリンターの技術で製造された一連のツールを市場に出します。デジタル化もしくはインダストリー4.0のテーマも、c-Com GmbHの設立とともに一貫して考慮されます。エレクトロモビリティのような将来的産業のための部品加工に、迅速に完成されたソリューションを利用することができます。



### 2018年

2018年1月1日に、ヨハン・クレス博士がマパールグループを引き継ぎました。ディーター・クレス博士が社長の地位をヨハン・クレス博士に譲りました。

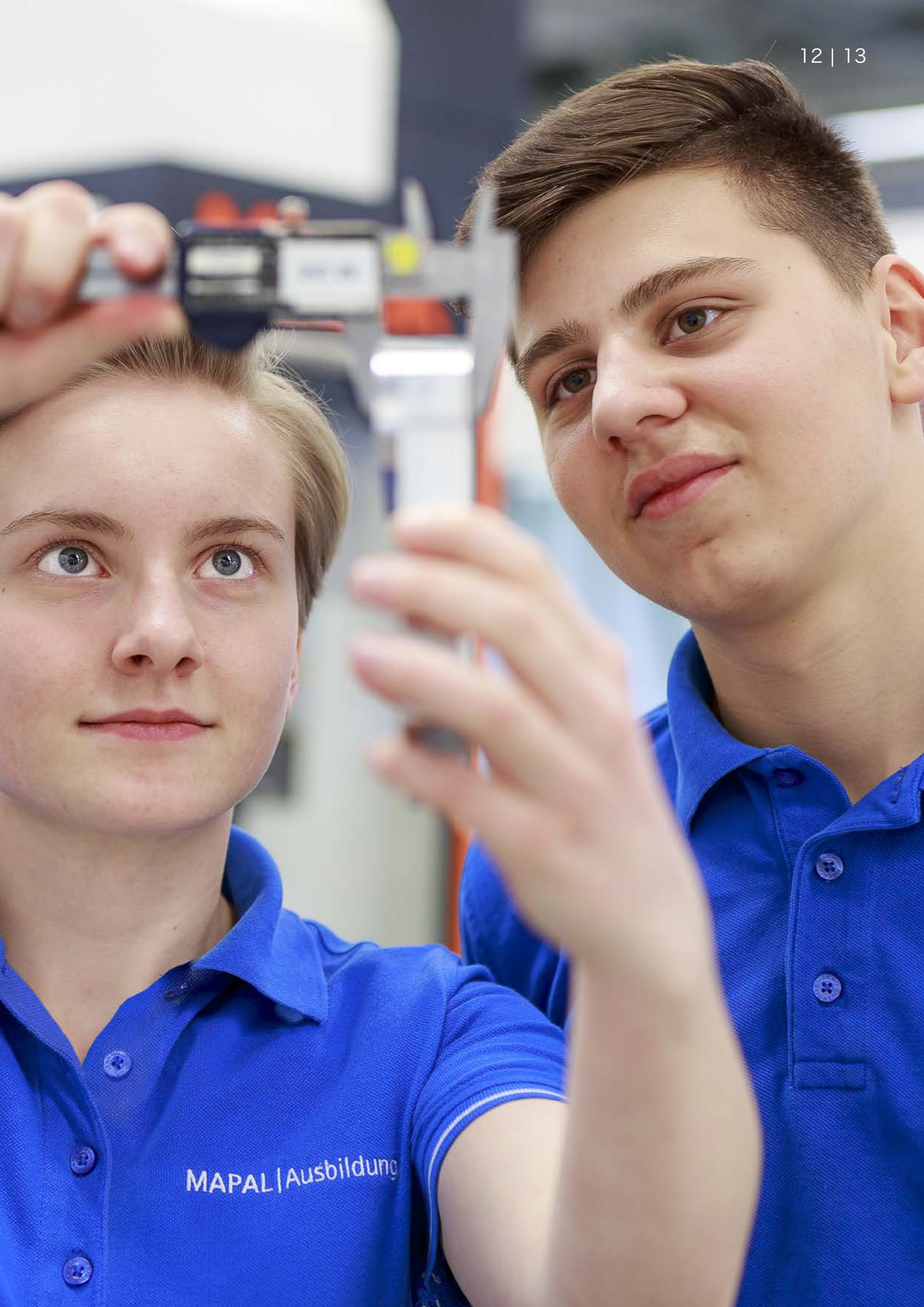


## マパールにいる実習生から専門 家まで

マパールの成功の重要な基礎となっているものは、25カ国にいる5,500人の従業員です。マパールは従業員のノウハウとコミットメントを頼りにしており、効果的で安定した将来のための最善の前提条件を提供します。興味深く、多様な職場、個人および専門的能力開発のための広範な機会、グローバルな環境での現代的な労働条件により、マパールは従業員との長年のパートナーシップのためのコースを設定します。

若者の訓練と彼らとの絆を深めることに焦点を当てています。これは毎年300人以上の実習生および大学生を含む、幅広いトレーニングプログラムによって達成されています。最新のトレーニングセンターと統合された教育コンセプトにより、卒業後もスムーズに仕事をすることができます。さらに大学生は、インターン期間、在学中に習得した知識を直接実践に移すことができるので、マパールとの最初のネットワークを確立することが可能です。





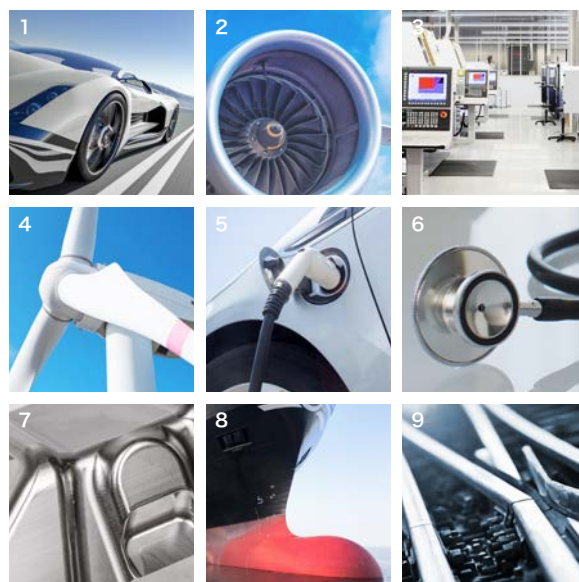
MAPAL | Ausbildung



## 市場と産業

お客様との長年の緊密な強力を通して、マパールは機械加工製造における、ほぼすべての方法と応用のための深いプロセスを理解しました。マパールの加工ソリューションが使われる用途は、幅広い業界にあります。

自動車産業の挑戦と基礎をなす量産のために、マパールはシャシーおよびパワートレイン分野とエレクトロモビリティの両方で、あらゆる著名なメーカーとサプライヤによってうまく応用されるイノベーションを以前から開発しています。信頼性の高いソリューションにより、マパールは航空産業の認定パートナーであり、製造および機械加工技術の動向と標準を設定します。最新のコンピテンシー分野、ツールや金型製作においても、包括的な製品範囲を準備しています。



1 自動車業界  
2 航空宇宙  
3 機械製造

4 電力生産  
5 エレクトロモビリティ  
6 医療技術分野

7 金型  
8 造船  
9 鉄道輸送



## 包括的なサービスと組み合わせた ツールおよびプロセスソリューション

マパールは包括的な製品とサービスのポートフォリオを用意しています。その結果、カスタマイズされた特殊ツールと高性能標準製品から、プロセスの信頼性、精度や費用対効果の要求を最適に満たす機械加工ソリューションが生まれました。

インテリジェントなサービスで補われ、お客様は加工プロセスのための完全なパッケージを手に入れます。









#### リーマ加工およびファインボーリング加工

精密穴加工のためのツールは、マパールのコア・コンピテン  
スです。部品加工の複雑さと精度や表面への要求に応じて、  
マパールは適切なソリューションを提供します。最高の精度  
を達成するために調整可能なインサートとガイドパッドを備  
えたリーマとファインボーリングツールが使用でき、プログ  
ラムには最高の切削条件を得るためにマルチブレードリー  
マとヘッド交換システムが含まれています。



#### ソリッドドリル、中ぐり、座ぐり

ソリッドドリルのプログラムには殆ど全ての加工素材を安定  
したプロセスで経済的に加工するソリューションが含まれ  
ていて、時代の要求にマッチした交換ヘッドシステムがその  
プログラムを補完しています。ソリッドドリルと精密加工の  
間の機械加工ステップを引き継ぐボーリングツールは、発生  
する機械加工力と高い費用対効果の観点から、堅牢性と最  
適に組み合わせられている必要があります。革新的な技術と  
絶対的な精度により、マパールはISOインサートと固定ロー  
付けされたPCD刃を備えたツールに包括的なプログラムを  
提供します。高性能カウンターシンクツールにより、生産性  
を大幅に向上させることができます。



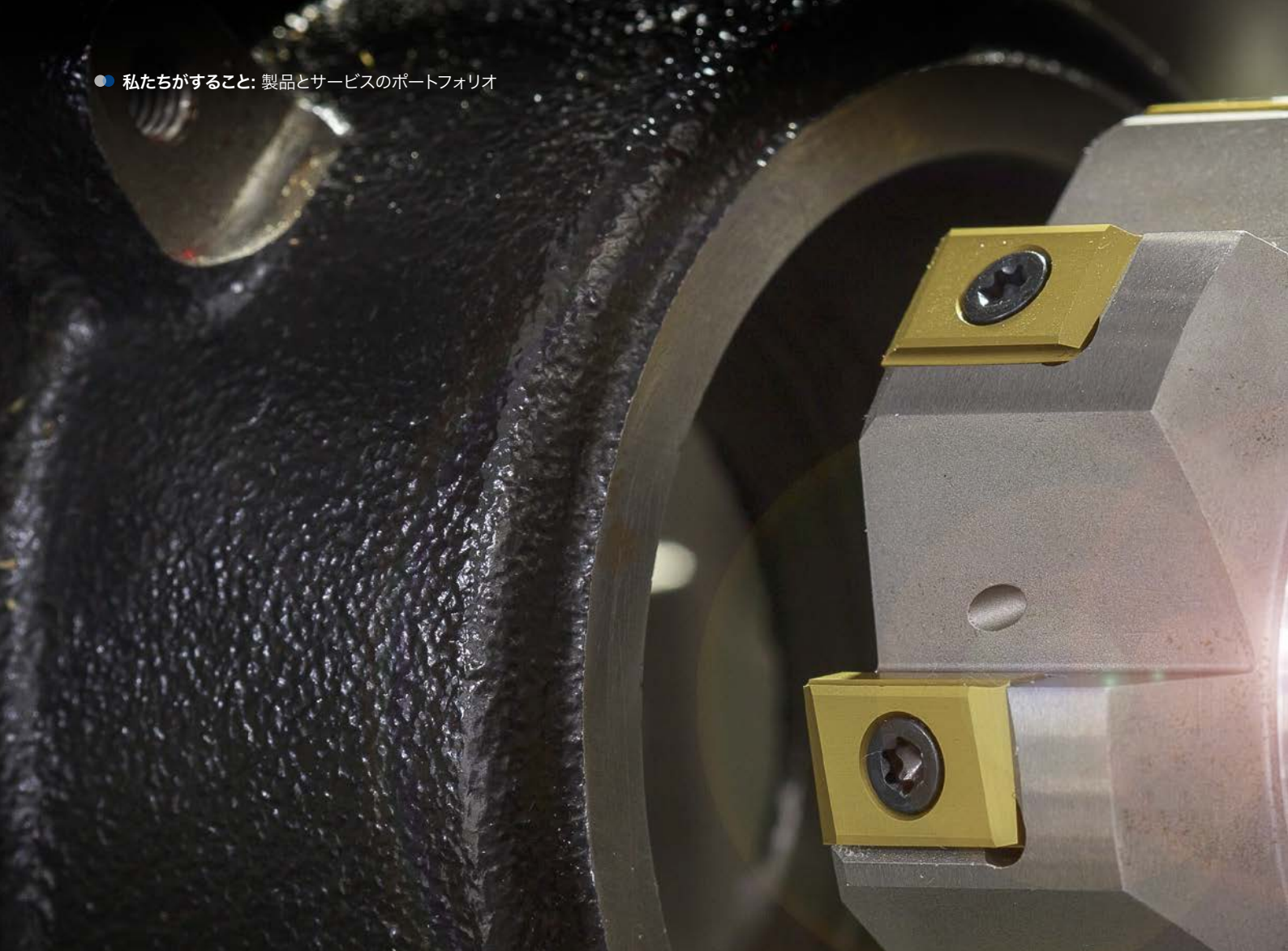
### フライス加工

あらゆるミーリング加工に対してマパールは最適なツールを提供します。これには超硬ソリッドエンドミル、PCD刃および交換可能なISOインサートを備えたミーリングカッターが含まれます。一般的な加工方法に加えて、マパールは革新的なツールソリューションとともにターンミル加工、トロコイドミーリングあるいはヘリカル加工等の特殊なプロセスもカバーしています。



### クランプ

ツールを使用する場合、機械主軸への接続とクランピング技術には中心的な役割が当てられます。マパールのクランピング技術プログラムは、あらゆる用途に使用中のツールに必要なパフォーマンス、同心度、交換精度を保証するインターフェースを提供します。特にクランピング技術の分野における3Dプリンターのインテリジェントな使用により、完全に新しい設計の可能性を切り開きました。



### 旋削

旋削分野におけるマパールの重点は、PcBNでの超高度旋削にあります。ねじれない旋削、柔軟な重切削溝切り用の特殊ツールシステムやコストのかかる工具材料のPcBNを最適に使用するためのインデキサブラウンドインサートは、標準インサートの幅広い選択と同様にプログラムに含まれています。HSK-T回転ホルダーによりポートフォリオが補完され、HSKインターフェースの利点を旋盤でも利用することが可能になります。さらに選択した用途に対して、完全なソリューションを利用することができます。



### アクチュエーティング

専用機で使う場合でも、フレキシブルなマシニングセンタで使う場合でも、複雑な輪郭や円筒形でない形状の穴あけ加工、フェーシングや立方体ワークへのリセス加工の際に、最大限の合理化と最適化のためにアクチュエーティングツールを利用できます。製品のラインナップには、機械的なアクチュエーティングツール、ボーリングバー、フェーシングヘッド、追加のフィードユニットを必要としない特にフレキシブルなNC制御のメカトロニクス工具システム TOOL-TRONIC があります。



### 設定、測定、ディスペンシング

最新の生産設備では、各生産設備の技術および物流管理のために完成した倉庫システムと高精度の調節装置および測定機器が使用されています。効率性向上の決定的な要因は目的に見合ったデータ構造と信頼できる直観で取り扱いが可能な装置の組み合わせです。マパールは製品だけでなくサービスも提供し、お客様の為に包括的なモジュラーシステムを用意しています。



### サービス

金属加工業界では、プロセスコストに重点が置かれています。コントロールするには、すべてのプロセスを理解する必要があります。マパールは、エンジニアリング、ロジスティクス、メンテナンスおよびトレーニングの分野におけるカスタマイズされたサービスにより、生産のあらゆる段階と分野をサポートします。

● マパールを際立たせるもの: 革新的な強み





## 革新的な強みで未来の課題を克服します

メガトレンドはイノベーションの重要な推進力です。エネルギー効率あるいは資源節約、ドライブトレインの変化あるいはインダストリー4.0のような最新の発展から、最新のツール技術で対応する必要のある要求が発生します。

革新的な製品でメガトレンドを実現するためのソリューションをお客様に提供できるように、マパールは、継続的な研究を非常に重視しています。お客様、パートナー、研究機関との緊密なコンタクトがその基盤となります。具体的な製品やサービスの市場の厚みに対するアイデアの体系的な開発がマパールの特徴です。

現在、自動車産業の変化に特に焦点が当てられています。内燃エンジンからエレクトロモビリティへの変換については、とりわけ精密ツールメーカーが顕著に関わっています。自動車メーカーやサプライヤーとの徹底した協力により、マパールは初期段階から電気モーター用部品を機械加工するための総合的ソリューションを提供し、将来のプロジェクトのための革新的で信頼できるパートナーとしての評判を守ることができました。



デジタル化は透明なプロセスを生み出します



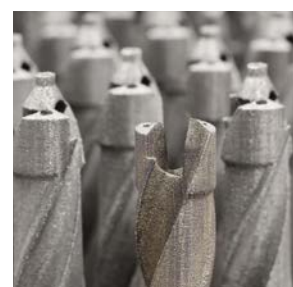
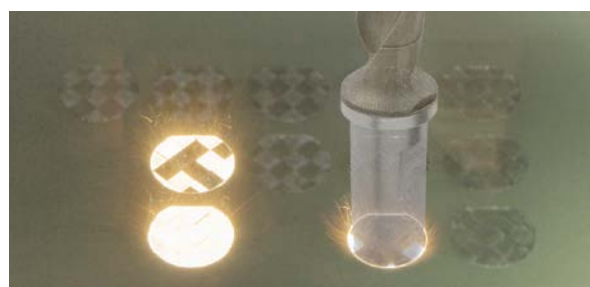


デジタル化もまた企業に特別な要求を課します。ここでは2つの基本的な開発が重要です。まずはマパール自体のデジタル化で、より良い透明性、データの一貫性、世界的に統一された標準を通じてより良い顧客サービスを提供し、さらに信頼できるパートナーになります。さらにバリュー・チェーンに沿った企業のデジタルネットワーキングにより、新製品が生まれたり、製品に大幅な変更が加えられます。

マパールは近年多大な投資をしており、c-Comとともに業界初の企業として、ツールの共同データ管理のためにオープンなデジタルクラウドベースのプラットフォームを開発しました。今日、アウトソーシングの新興企業であるc-Com GmbHは、機械加工に関連したモジュール式のデジタルサービスを提供しており、お客様が簡単にデジタルの世界に参入するのを可能にします。マパールもまた、例えばツール管理サービスの一環でc-Comを使用しているため、すべての商品の流れ、さらにはコストを最大限に透明化することができます。

● マパールを際立たせるもの: 革新的な強み





## チャンスを認識し、勇気と先見の明 で実行します

マパールは、選択的レーザー溶融を集中的に使用する業界初の企業として取り組んできました。研究開発の分野では、広範囲の基礎固めにより、ツール形成に関して3Dプリントを始めるという大きな可能性を切り開きました。

特に小型で繊細で、幾何学的で複雑な形状のツールを設計することは、鑄造ブランク形状による可能な限りの軽量化と同じくらい重要です。

小口径QTDインサートドリルにより、マパールは付加製造の一連のツールを市場に出しました。最適な動作に必要なコイル状の冷却チャネルは、従来の方法では再現されませんでした。3Dプリントでは問題ありません。今日、選択的レーザー溶融は機械加工を補完する優れたものです。

● マパールを際立たせるもの: 革新的な強み



継続的な研究開発を通じて技術的にリードします



革新は常に同社の原動力です。人員および技術的装備の観点から、研究開発の分野は強く影響を受けます。高い年間投資額により、マパールの技術的リーダーの地位が守られます。

毎日60人以上のエンジニア、技術者や機械オペレータがアーレンの開発センターで、コーティング、材料技術やシミュレーションの分野で働いています。コンペテンスセンターからの専門的なサポートにより、彼らは新しいツールソリューション、新しい切り刃形状、理想的な工具材料や高性能ツールのためのコーティングを開発しています。そして代替製造プロセスをテストし、効率的なツール製造のための革新的な技術をテストしています。

開発分野では既に、お客様との近さが明確になります。そのため新しいツールソリューションをテストセンターでテストし、最適化することができます。新製品をお客様のところへ持ち込み、プロトタイプから完成工具までの製造もサービスに含まれます。実際の生産環境では、毎年400を超えるテスト加工がおこなわれ、さまざまなマシニングセンタ、高精度測定技術、3Dプリントによる積層造形など、ほぼすべての製造が可能になり、お客様の製造プロセスを正確に複製することができます。さらにマパールはテストセンターの各マシンをサービスでお客様に提供しています。

お客様、マシンメーカー、工具材料のサプライヤとの緊密なコンタクトや、研究プロジェクトにおける大学や主要な研究機関との徹底的な協力を通じて、開発エンジニアは新製品のための貴重な推進力を得ています。

● マパールを際立たせるもの: 世界中で高い製造レベル



## 世界規模の製造システムが最高の製品品質を保証します

マパールツールは最高の品質とコスト削減効果のためにあります。これらの要求は、ツール製造における最優先事項です。世界中にある27の拠点で、最先端の製造設備と標準化された製造プロセスにより、ツールの製造と再研磨処理、修理が最高水準で実現されています。



マパールは世界的に統一された最先端の製造に最高の価値を付与します。マシン、設備、NCプログラム、品質保証と認証および従業員の教育訓練への継続的な投資は、革新的なマパール製品が世界中で同じ高品質で製造されることを保証します。製造工程もまた一貫して標準化されています。各製品分野を担当するコンペテンスセンターは、製造プロセスを決定し、それに対して世界中で責任を持ちます。最新の3D設計とシミュレーションプログラムがその基礎を形成します。インテリジェントインターフェースがデータを各工作機械、レーザーまたは3Dプリント装置にデジタルで転送します。

#### オリジナル品質に再生

独自の研磨とコーティングを施した再研磨ツールは、ほぼ新しいツールの寿命に達します。ご要望に応じてマパールはツールを引き取り、再研磨をいたします。この分野でも世界的に標準化されたオリジナルの品質を保証します。



## 技術指向の営業チームが真のパートナーシップを可能にします

お客様の近くにいることはマパールにとってスローガンであるだけでなく、企業理念の重要な要素です。お客様との継続的で密接な対話、お客様が取り組むテーマと直接関わり合うことが、マパールの創設以来の活動の中心です。

目線を合わせた定期的なコンタクトを通してのみ、お客様のプロセス、さまざまな業界や市場の課題を詳細に把握し理解することが可能です。そしてこれに基づいて常に新たな改善をしていきます。

そのため、技術指向の営業チームに450人以上の従業員が世界中にいます。





## 世界中でお客様の近くに

お客様との密接な対話、それによる技術的要求の早期認識および革新へのアプローチは、マパールにとって企業ポリシーの重要な柱です。その結果、マパールは25カ国に製造および販売拠点を持ち、直接代理店を構えています。これにより、近距離で個人的なコンタクトと長期的なパートナーシップが可能になります。

ドイツの生産施設に加えて、現地の生産施設が戦力的に重要な世界中の市場への短納期を保証します。現地の市場において、選択された製品の製造および再研磨、再注文を担当します。

独自の拠点に加えて、その他19カ国で販売代理店を通じてマパール製品を購入することができます。





ドイツ  
マパールグループの本部



#### 南アメリカ

- 01 **ブラジル**: MAPAL do Brazil, イビリテとサンパウロ

#### 北アメリカ

- 02 **メキシコ**: MAPAL FRHENOSA S.A., サンビドロ、ガルサ・ガルシアとケレタロ  
03 **USA**: MAPAL Inc., ポートヒューロンとファウンテンイン

#### ヨーロッパ

- 04 **伝マルク**: MAPAL Representative Michael Bang Pedersen, ハリスレー  
05 **ドイツ**: MAPAL Fabrik für Präzisionswerkzeuge Dr. Kress KG, アーレン、August Beck GmbH & Co. KG, ウィンターリンゲン、c-Com GmbH, アーレン、LASERPLUS AG, イダー・オーバーシュタイン、Lothmann Werkzeugtechnik GmbH & Co. KG, ルートヴィヒスブルク、MAPAL ITS GmbH, エッピンゲン、MAPAL WWS GmbH & Co. KG, プフォルツハイム、MILLER GmbH & Co. KG Präzisionswerkzeuge, アルテンシュタット、voha-tosec Werkzeuge GmbH, リンドラー、WEISSKOPF Werkzeuge GmbH, マイニンゲン、WTE Präzisionstechnik GmbH, エーレンフリーダースドルフ、  
06 **フランス**: MAPAL France S.A.S., レ・シャンボン・フェーシレル、ヴァレパン、トゥルーズ、ヴィンニュ・デ・ブルターニュ  
07 **イギリス**: MAPAL Ltd, Rugby und Rainey Engineering Solutions, リスパーン  
08 **イタリア**: MAPAL Italia S.R.L., ジェッサーテ  
09 **オーストリア**: MAPAL Representative Ewald Gringer, アドルヴァンゲ

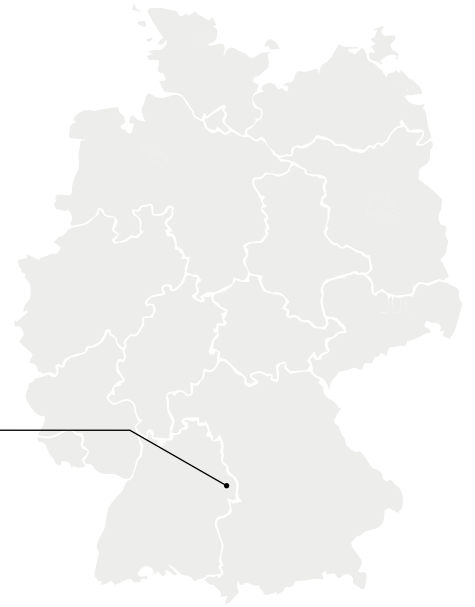
- 10 **ポランド**: MAPAL Narzedzia Precyzyjne Spółka z o.o., ポズナン  
11 **ルーマニア**: MAPAL Microtek S.R.L., コドレア  
12 **スイス**: MAPAL Representative Andreas Mollet, プリッターン  
13 **チェコ**: MAPAL C&S s.r.o., ムラダー・ボレスラフ  
14 **ハンガリー**: MAPAL Repräsentant Andras Koleszar, ブダペスト

#### アジアとオーストラリア

- 15 **中国**: MAPAL China Ltd, 上海に本拠地、さらに16の営業所  
16 **インド**: MAPAL INDIA Pvt Ltd., コインバトールに本拠地、さらに4つの営業所  
17 **インドネシア**: MAPAL INDONESIA, タンゲラン・スラタン・バンテン  
18 **日本**: MAPAL KK, 埼玉  
19 **マレーシア**: MAPAL Malaysia Sdn Bhd, バラコン  
20 **シンガポール**: MAPAL Asia TET Office, シンガポール  
21 **大韓民国**: MAPAL HiTECO Co. Ltd, シフンシとAdico Co. Ltd, アンソンシ  
22 **台湾**: MAPAL Precision Tool Systems Co. Ltd, 台南市  
23 **タイ**: MAPAL Tooling (THAILAND) Co. Ltd, バンコク  
24 **ベトナム**: MAPAL HiTECO Vietnam Co. Ltd, ハノイ  
25 **オーストラリア**: MAPAL Australia Pty Ltd, バララット



1 アーレン



## ドイツでの強い基盤

### コンペテンスセンターが技術的リードを保証します

アーレンにあるマパールグループ本社周辺には、技術的に優れたツールソリューションを提供するためにさらに8つの拠点がドイツにあります。その分野で証明されたスペシャリストとして、コンペテンスセンターは高いレベルの製造を保証し、その地域の販売をサポートし、世界中の拠点へノウハウと専門知識を伝える責任があります。



2 ブフォルトツハイム



3 エッピンゲン



4 アルテンシュタット



5 マイニンゲン



6 エーレンフリーダースドルフ



7 ウィンターリンゲン



8 イダー・オーバーシュタイン



9 リンドラー

## 1 マパールグループの本社

### MAPAL Fabrik für Präzisionswerkzeuge Dr. Kress KG

Obere Bahnstraße 13  
D-73431 Aalen  
電話番号: +49 (0) 7361 585-0  
ファックス: +49 (0) 7361 585-1029  
Eメール: info@mapal.com  
www.mapal.com

アーレンにあるMAPAL Dr. Kress KGがマパールグループの本拠地です。アーレンでは、研究開発、マーケティング、教育訓練、プロセス管理あるいはサービス分野など、中心的な機能が集中しています。アーレンはまた、特にファイブボーリング加工、ISO要素を備えたツール、クランプ技術、調節、計測、ディスペンシングの分野でグループ最大の生産拠点です。ここではマパールグループ全体の基準がつけられ、世界中の現地担当者や協力グローバル展開を推進します。

## 2 PCDツール用コンペテンスセンター

### MAPAL WWS GmbH & Co. KG

Heilbronner Straße 25  
D-75179 Pforzheim  
電話番号: +49 (0) 7231 9663-0  
ファックス: +49 (0) 7231 9663-2029  
Eメール: info.wws@mapal.com

1980年に設立された、現在のMAPAL WWS GmbH & Co. KGは、1994年にPCDツールのコンペテンスセンターとしてマパールグループの一員となりました。16,000平方メートルを超える有効面積で、シンプルなものから非常に複雑な高性能かつ高精度ツールまでが、世界最大かつ最新のPCDツールの製造施設で開発および製造されています。PCDツールの製品範囲には、精密ボーリングツール、ミーリングヘッドシステム、エンドミル、ソリッドドリル、中ぐり、ミーリング用の特殊ツールやコンビネーションツールが含まれます。

## 3 アクチュエーティングツールおよびISOツール用コンペテンスセンター

### MAPAL ITS GmbH

Jakob-Dieffenbacher-Straße 8  
D-75031 Eppingen  
電話番号: +49 (0) 7262 9996-0  
ファックス: +49 (0) 7262 9996-7099  
Eメール: info.its@mapal.com

2015年にエッピンゲンの拠点を手に入れ、マパールはアクチュエーティングツールとISO特殊ツールの生産キャパを大幅に拡大しました。5,000平方メートルの近代的な製造工場は、ジンスハイムとフアインゲン・エンツの旧拠点を統合しています。コンペテンスセンターの製品範囲は、ISOインサートを備えた特殊ツールと制御可能な標準および特殊ツールに集中しています。

## 4 + 5 ソリッドカーバイド用コンペテンスセンター

### MILLER GmbH & Co. KG,

Präzisionswerkzeuge  
Im Tal 12  
D-89281 Altenstadt  
電話番号: +49 (0) 8337 727-0  
ファックス: +49 (0) 8337 727-4027  
Eメール: kontakt@miller-tools.de  
www.miller-tools.de

1991年に設立されたMILLER GmbH & Co. KGは、回転式超硬ツールのスペシャリストで、2003年以来マパールグループの一員です。アルテンシュタット/イラーの拠点では、超硬ツール用の15,000平方メートルの最大かつ最新の工場では高性能ドリルとミーリングカッターが製造されています。豊富な標準プログラムに加えて、特殊ツールの設計と製造は、事業活動の第二の注力分野です。最新の物流センターのおかげで、世界中のお客様に高性能ツールが迅速かつ円滑に供給されます。

### WEISSKOPF WERKZEUGE GmbH

Gleimershäuser Straße 5a  
D-98617 Meiningen-DreiBigacker  
電話番号: +49 (0) 3693 5017-00  
ファックス: +49 (0) 36 93 5017-08  
Eメール: info@weisskopf-tools.de  
www.weisskopf-tools.de

2012年からマパールグループの一員である、1993年に設立されたWEISSKOPF WERKZEUGE GmbHは、さらなる生産能力と反応速度で超硬ツールの製造を始めました。2,000平方メートルの有効面積で、WEISSKOPFは超硬ツールの高速小ロット生産と最小ドリルの製造に集中しています。

## 6 チャック用コンペテンスセンター

### WTE Präzisionstechnik GmbH

Gewerbegebiet an der B95, 2a  
D-09427 Ehrenfriedersdorf  
電話番号: +49 (0) 373 4117-0  
ファックス: +49 (0) 373 4117-101  
Eメール: info@wte-tools.de  
www.wte-tools.de

1999年に12人の従業員を擁するWTE Präzisionstechnik GmbHが設立されました。事業開始以来、高精度チャックの開発、製造、販売に集中してきました。2008年にチャックのコンペテンスセンターとして同社がマパールグループに統合されて以来、製造エリアは大幅に拡大しました。現在5,800平方メートルの製造面積で、WTEは精密ドリルチャック、油圧チャック、マイクロチャック、シュリンクチャックの幅広い標準プログラムを担当しています。

## 7 マルチブレードリーマ用コンペテンスセンター

### August Beck GmbH & Co. KG

Ebinger Straße 115  
D-72474 Winterlingen  
電話番号: +49 (0) 7434 270-0  
ファックス: +49 (0) 7434 270-1700  
Eメール: info@beck-tools.de  
www.beck-tools.de

August Beck GmbH & Co. KGは、1906年に機械工場として設立されました。それ以来、同社は精密加工ツールの製造を中心とした中規模の工業企業へと発展していきました。2004年以来、4,000平方メートルのウィンターリンゲンの拠点はマパールグループに属し、マルチブレードリーマのコンペテンスセンターとして、穴の精密加工のためのツールを専門としています。その基礎は、在庫から利用可能な広範囲の摩擦ツールやカウンターシンクツール、ならびにお客様の希望に合わせて設計、製造された特殊ツールによって形成されています。

## 8 革新的なレーザー技術のスペシャリスト

### LASERPLUSS AG

Hauptstraße 279A  
D-55743 Idar-Oberstein  
電話番号: +49 (0) 6781 98664-0  
ファックス: +49 (0) 6781 98664-99  
info@laserplussag.de  
www.laserplussag.de

1997年に設立されたLASERPLUSS AGは、すべての材料のマーキングや彫刻、プラスチックの溶接、金属および硬質材料の切削における精密用途のためのレーザーシステムのカスタマイズ製造を専門としています。そこでは最新のレーザー技術が常に使用されています。同社は2008年以来、マパールグループの一員です。

## 9 工具および金型製造用コンペテンスセンター

### voha-tosec Werkzeuge GmbH

Schreinerweg 2a / 2b  
51789 Lindlar  
電話番号: +49 (0) 2266 4781-0  
ファックス: +49 (0) 2266 4781-40  
Eメール: info@voha-tosec.de  
www.voha-tosec.de

voha-tosec Werkzeuge GmbHは、2019年以来ツールと金型製造のコンペテンスセンターです。2004年に2社から生まれたvoha-tosec社は、機械加工方法、そして金型、工具および模型、鑄造型、機械製造のためのフライス、機械加工方法、ツールシステムに集中しています。リンダーの本社では、高性能ツールが開発され、最先端の施設で製造されています。さらに再研磨、再コーティング、修正のための設備が利用可能です。

